



「道後オンセナート プレートランチ」をご存じですか。なんと1食2500円(税別)でランチと入浴が楽しめる※、各ホテル限定20食のランチです!オンセナートにちなんで、6つのホテルがそれぞれ食でアートを表現しています。砥部焼のプレートに自慢の料理を盛りつけ、個性豊か!参加する6つのホテルすべての<プレートランチ>を食べ比べしてきました!

※茶玻瓈は入浴料(500円)が別途必要です

★道後山の手ホテル



松山平野と瀬戸内の海をイメージ

道後山の手ホテルでは、松山平野と瀬戸内の海をイメージしたランチプレートを提供しています。食材には瀬戸内の海の幸や県内で採れた野菜がふんだんに使われています。県外から観光で来られた方には愛媛の味を知っていただくことができ、そして県内の方にも魅力を再発見していただけるような愛媛の食材が凝縮されたランチプレートでした。(中嶋)

★大和屋本店



月替わり節句ランチプレート

毎月21日に献立が替わる「節句ランチプレート」。老若男女、様々な人に楽しんでもらうために料理長が時季の食材を見ながら献立を考えています。写真は「初夏」がテーマの料理。紫陽花に見立てたゼリーや鮎、沢蟹が夏の訪れを感じさせてくれます。(佐々木)

★道後館



地元の人も楽しめる

道後館では、地元のお客様が毎月来ても飽きない月替わりのランチプレートを提供しています。ワンプレートという1つの枠の中で、季節感や地元産のおいしさを感じることができます。宇和島の郷土料理である福めんは薄味の黒コンニャクのうえにエソのそぼろ、いり玉子、ネギが盛り付けられており、思わず写真を撮りたくなるような鮮やかさです。瀬戸内の食材や郷土料理を目一杯楽しんでみませんか。(安田)

★ふなや



七色の椿が輝く

一際輝きを放つのはキラキラした7種類の「手まり寿司」。松山市の花、椿をイメージされているそうです。鯛や干し椎茸、ひのかぶらなどの食材のほとんどは県内産の食材で、五色そうめんや天ぷらなど、地元の郷土色が味わいつくせます♪(渡部)

★花ゆづき



見て食べて感じる松山

「松山市」の風景をイメージしたランチプレート。真ん中の大根が道後温泉、斜めになっている人参が道後から広がる道、お寿司がお花畠。さらに、椎茸や太刀魚、鯛などの食材のほとんどは県産!また、季節ごとに料理が変わります。具材たっぷりなうどんすきと茶碗蒸しも付き、ボリュームたっぷりです♪(渡部)

★茶玻瓈



ミニ懐石の宝石箱

ミニ懐石がたくさんつまたランチプレート。こだわりは、やっぱり季節感と色目です。その日お客様に食べてもらいたいものを提供しているそうで、料理に合わせ器も変化。見た目の華やかさに加え、スイーツがついているところも女性にはうれしいポイントですね♪照明を落とした落ち着いた雰囲気も心地いい♪(安田)



谷尻 誠 × 道後プリンスホテル

えっ……、絵?!

この部屋では、どう見ても絵!な世界に迷い込むことができます。普通のお部屋をアートにした作品ですが、前代未聞のトリックアートと言っても過言ではないかもしれません。家電から小物まで、あちこちに作者のこだわりが溢れていて、部屋へ入った瞬間から驚きの連続でした。ベストショットポイントを見つけて写真を撮るもし、宿泊するもよし!この不思議な感動を、体験してみて♪(山本)



道後地区の9つのホテルとアーティストがコラボレーションした「泊まれるアート作品群」!それが「HOTEL HORIZONTAL(ホテルホリゾンタル)」です。今回は2つのホテルでアートの世界を体験してきました!あなたはどのアートに染まる?

草間彌生 × 宝荘ホテル

無限に広がる水玉の世界!?

扉を開くとすぐに広がる、水玉模様の草間彌生ワールド!この作品は、1つの部屋で3つの空間を楽しむことができます。1つ目は、壁やベッドカバーなどが赤と白の水玉で統一されている、幻想的な空間です。次の空間は、黄色と黒色、そして『カボチャ』で表された空間となっていました。床の間には人の背丈ほどもある巨大カボチャ。他にも様々な仕掛けがあり、まるでアトラクションのようでした。最後の空間は、松山の夜景を水玉とともに楽しむ夜の空間でした。机や窓に施された水玉と、その奥に広がる夜景とが一体となった作品は宿泊者にしか味わえない作品となっています。部屋全体を通して『あるもの』が8つ隠れているので、探してみて!(伊藤)



アートと湯巡り!

道後で人気の足湯を巡りながら、アートに触れてみませんか?



伊佐爾波神社

★影絵

「影絵を巡る」

夕闇が迫るころから13ヵ所で影絵を見ることが出来ます!写真の影絵は、その中でも最も大きい市立子規記念博物館の「大影絵」。なんと!!1000年後の道後温泉の姿が描かれているそうな!!(渡部)



★足湯

「足湯を巡る」

道後に足湯・手湯がいくつあるかご存知ですか。実は11個もあり、全て無料です!写真は道後ハイカラ通りの入り口にある放生園の足湯。カラクリ時計を眺めながら浸かることで心が落ち着き、歴史を感じることができます。観光客や地元の方もお話しすることができるかもしれませんね。(浜名)